

# HFPライフ&マネー通信

Hokkaido Financial Planners Life & Money News

- 北海道発の独立系F P会社 -

2003年4月発行  
(通算第43号)

## 視 点

### ◆ 目標設定と自己実現と姿勢 ◆

プロ野球では、今、オープン戦が終了し、もうすぐ公式戦が開幕する。今年もどんな戦いやプレーが見られるか、楽しみである。そんな中で私が最も注目している選手は、巨人軍の桑田真澄投手である。ご存知の方もたくさんいると思うが、彼は昨年34歳という年齢でありながらも、昨年、どん底から復活の末、最優秀防御率賞を取った球界を代表するベテラン投手である。

私の記憶だと桑田投手がメディアに登場してからおよそ20年になる。PL学園一年生の夏に小さな体で甲子園にて優勝投手となった、その時からだ。その後も高校野球で大活躍し、巨人軍に入団。その時から「プロで20年やって200勝します」と言っていたのを私は鮮明に覚えている。そして今も言いつづけている。

投手として体が小さいという大きなハンディがありながらも、入団してから最多勝、MVP、チームのリーグ優勝、日本一とプロ野球界に貢献してきた。ところが95年にファールフライを取りに飛び込み肘のケガをし、そして大手術。その影響や体力の衰えによりここ数年、期待に応える活躍が出来ず引退説まで流れていた。しかし昨年みごとどん底から復活。今年のオープン戦も安定した投球を見せてくれた。着々と目標の200勝まで近づいている。あと36勝だ。

桑田投手は目標設定が非常に明確だ。更に、幅広く勉強する人であり努力家である。というのは、目標を掲げ、それに向かっていく途中、出てくる障害に対し、幅広く勉強し、応用できそうな物を参考にし、野球に取り入れている。高校生の時から、発想も違う。「甲子園で優勝するのにみんなたくさん練習している。だから、野球以外で人間的に強くならなければならない。人の嫌がるトイレ掃除をしよう」と寮のトイレを毎朝掃除してから学校に行ったそうだ。更に、手術した肘のりハビリにピアノを取り入れ、回復を早めたという話もある。今回の地獄からの復活に役だったのは武術を取り入れ応用し成功した。つまり、桑田投手は恵まれていない体のハンディを、様々な事でカバーしていると言える。

姿勢も素晴らしい。投手の大半は投げる事だけを考えているように見える。しかし、彼は、投げる、走る、打つ、守る、を実践する数少ない投手だ。投げすぎで肘を痛める投手は何人もいるが、ファールフライを全力で取りにいった肘をケガした選手は、あまりいない。打ったあと全力で一塁まで走りきる投手もあまりいない。全力でプレーしているのが見ていて本当に伝わってくる。

私のビジネスは、顧客と共にファイナンシャルプランを作り、顧客の目標設定と自己実現のお手伝いをする事である。今の日本経済は長引く不況とデフレに悩まされ、ビジネスに生きる者自身が望む生活を実現するのは決して簡単とは言えない。しかし、スポーツの世界と土俵は違っても、様々な障害を超えながら、自分自身に勝ち、過去に掲げた目標に対し、実現に近づく人がいるのも事実だ。私は自分自身に彼のような姿勢で、日々生活しているだろうかと問いかけることがある。桑田投手の姿勢や努力の過程や考え方など、私自身はもとより、今後ファイナンシャルプランを考える顧客にも参考になると思っている。

甲子園の優勝投手で200勝投手は、まだいないと聞く。是非、達成してほしい。



ファイナンシャルプランナー 坂口 雅文

確定拠出年金という制度が少しずつ普及し始めている。公的年金の制度疲労の補完ならびに企業年金（退職金含む）からの移行など様々な問題解決のために導入され始めている。

仕組みは、会社が一定金額を従業員のために積み立てをしてくれるというのは、これまでの企業年金と同じであるが、最も異なるのが、運用方法を従業員が決定しその運用成果次第では、大きく増やすことができたり元本割れという結果になったりする、という点である。

制度上は、銀行の預貯金や生保会社の元本保証型のものを必ず選択肢の中に入れることが義務付けられており、その他様々なタイプの投資信託を複数用意して、従業員が自らの判断で選べるようになっている。

現在のような低金利の状況では、元本保証のものを選択した場合、運営コストがかかるため、増えないばかりか減少してしまうケースも出てくる。だからといってリスク性資産を曖昧な運用知識でチャレンジするのもいささか無謀のような気もする。

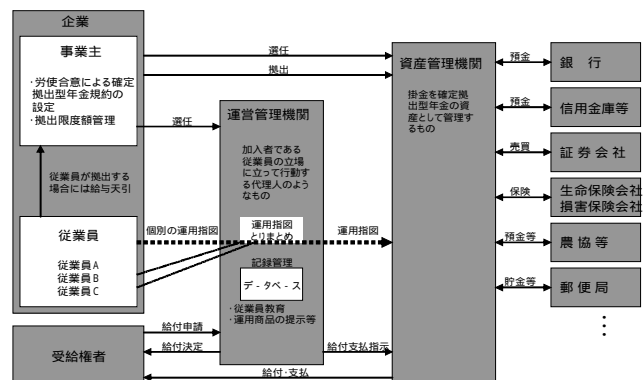
HFP ではこれまで確定拠出型年金導入に関する仕事に関係してきたが、これから先はこの業務を受託しない方向に決めた。理由は、導入する企業および運営管理機関や関係企業が、あまりにも無責任な所が多いことが判明してきたから。

投資教育といって、この制度導入を行う企業に義務付けられているものであるが、現実には1時間程度しか時間がない。加えて、全従業員に均質なものを提供するという趣旨から、色々と分かりやすくする工夫さえ禁じられている。ほんの僅かな時間内にほとんど上辺だけの知識しか与えられない中で、老後の資金設計を判断させられる、そんな片棒を担ぐわけにはいかない、というのが私の考え。

資産運用は大切なことであることは言うまでもないし常日頃皆様には運用することをお勧めしている。しかしながら同時に勉強もしてもらって、ある程度の本質を理解いただいてから実行している、そのために費やしている時間は少なくともいろんなものを加えると一人3時間から5時間はかかるはずではないかと思う。

用意されている投資信託の選定にも疑問が残るケースも多い。企業や金融機関側の都合が優先され従業員側には、知らされていない点も多々見受けられる。また金融機関側の担当者もほとんどが資産運用の素人なのである。

勤務先の制度であり従業員という立場では抗う手立てがない。皆様の周りにこのような方がいたら是非ともお伝え願いたい、とにかくしっかりと勉強してください、と。

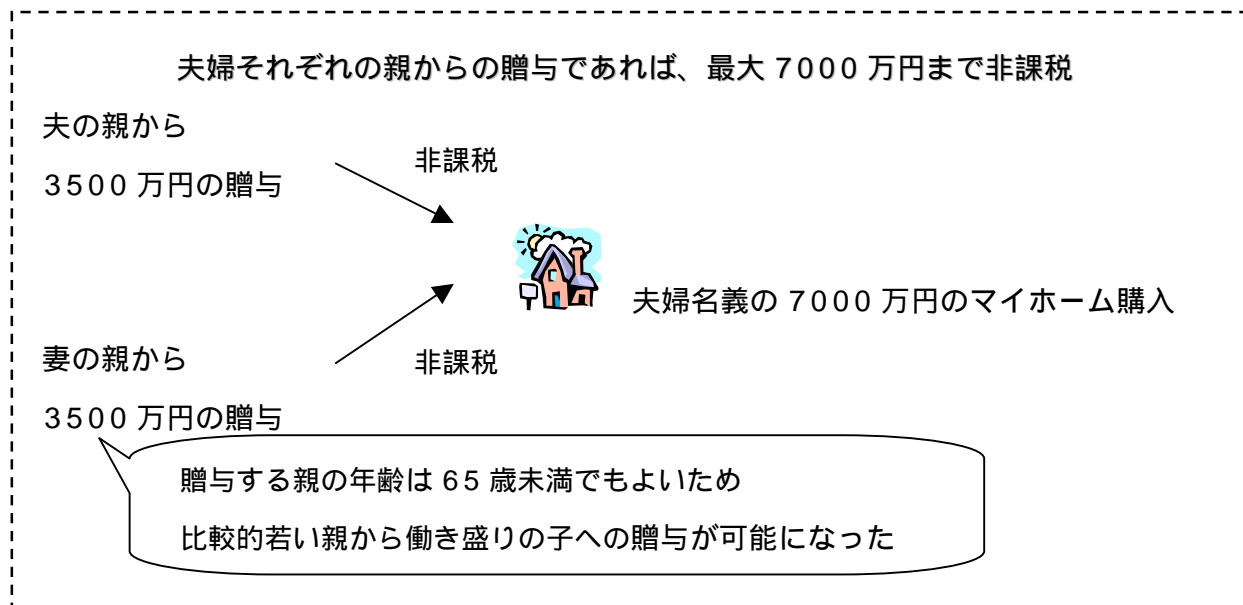


(出所) 平成11年6月年金制度調査会 私的年金等に関する小委員会



2003年度の税制改正で、住宅取得に関する贈与税の非課税枠が

住宅取得資金のための贈与の場合、贈与税の非課税枠は3500万円となりました



最終的に相続のときに、過去に受けた非課税枠での贈与の額と遺産額を合算して  
相続税を算出して課税されることになる

これまでの550万円までの住宅取得資金贈与の特例は残るので、今回の特例との選  
択になります

この特例を使うことができるための要件は、新築または築後経過年数が20年以上  
(耐火は25年以内)の家屋で床面積が50㎡以上であること

増築、改築、大規模の修繕、大規模の様様替え等の工事費用が100万円以上で、改  
築後の床面積が50㎡以上であれば適用になります。

相続税の基礎控除を超えない資産の場合、3500万円までの住宅資金の贈与が非課税になる  
贈与時より相続時に評価額が下がった場合には、贈与したために相続税が増え、不利になること  
もあるので注意

**NEW**

## お知らせ

### 4月～5月 HFP セミナー

4月～5月のHFPセミナーは次のとおりです。

ご予約の上、ぜひご参加ください。お待ちしております。

#### 要予約

【共通】会費：1回1500円2回2500円

(HFP個人会員は無料)

会場：ばらと北1条ビル会議室 定員：各回15名

申込：前日までに電話かE-Mailで弊社まで



#### 4月

マイホーム取得と住宅ローン 4月12日(土) 13:00～15:00

失敗しないマイホーム取得の方法。  
住宅ローンを組むときのポイントを知っておきましょう



#### 5月

生活設計の知恵あれこれ 5月17日(土) 13:00～15:00

ライフプランのために知っておくと役に立つ情報です

1円で出来る株式・有限会社 中小企業挑戦支援

#### ミニ・ニュース

これまでの法人設立の要件の株式会社1,000万円、有限会社300万円の最低資本金要件が条件付で緩和されることになりました。事業を行っていない人が、新たに法人を設立して事業を開始する場合に限り、資本金が1円から会社ができるようになりました。道内でも既にこの制度を利用して、数社が特例の適用を受けています。

### Life&Desert

#### 超簡単レシピ その9

##### ながいもサラダ

1. 長芋を食べやすい大きさにスライスする。
2. 市販の味付雌株と1.を混ぜ合わせる。
3. 好みであさつきやかつぶしをトッピング

### (株)北海道ファイナンシャルプランナーズ

〒060-0001

札幌市中央区北1条西3丁目3-25

荒巻時計台ビル7階

TEL(011)252-2500

FAX(011)252-2521

E-mail: info@hfpnet.com

www.hfpnet.com

